

タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和6年12月1日(日) 午後2時～3時45分
場 所 緑ヶ丘会館（緑ヶ丘地区町会、西鶴ヶ岡町会）
参加者 17人



主な意見等

参加者 川越市藤間の辺りからソラガーデンの横を抜けて三角交差点へ走る道路なのですが、朝夕の渋滞がひどいです。理由はいくつかあると思いますが、道路幅がせまいこと、交差点に右折レーンがないことが大きいと思います。先頭車が曲がれないと全然動きません。幸い通学路ではありませんが、大型車両も走っており、ファミリーマートから三角交差点の辺りは歩行者や自転車も通りますので、安全面からも問題があると思います。

市長 区画整理が行われたエリアは道路が広く整備されていますが、そうでないところは道路が狭く、渋滞が起こることがあります。道路を拡幅するとなると莫大な費用がかかりますが、社会保障経費が増える中でインフラ整備に掛けられる予算が少なくなっています。全面的な道路の拡幅工事は難しいですが、重要課題の1つとして考えさせていただきます。

参加者 拡幅は予算がかかりますが、右折信号をつけるだけでもだいぶ改善すると思います。

市長 信号機の設置は公安委員会の所管になりますが、地域の方から切実なお声をいただいたので、要望をあげていきたいと思っています。

参加者 去年のタウンミーティングで、くら寿司の所に歩行者信号をつけてほしいと伝えました。道路課の職員の方にも伝えたところ、警察に聞

いてくれました。市役所も課題を認識して、検討・要望をしてきていると感じました。市民として声をあげていくことが大事で、市役所もしっかり動いてくれていると思っています。

市長　　くら寿司の所への歩行者信号の設置については、公安委員会に要望していますが、設置場所には歩道も含めて横断待ちの待機場所が必要とのことでした。公安委員会のほうでも予算がなく、2市1町の管内で年間に1、2か所信号が増えればいい方で、1か所もつかない年もあるようですが、引き続き声をあげていきたいと思っています。

参加者　　私は動物愛護推進員をしており、ペット関係で3点あります。1点目はペットの防災についてです。現在、ペットを飼っている人が同行避難はできても同伴避難はできない状況です。同伴避難ができるようにしてほしいです。

市長　　ペットの同伴避難となると、動物が苦手な方やアレルギーの方もいるという課題があります。同伴避難が可能なエリアの確保についても課題として捉えていきたいと思っています。

参加者　　2点目は、以前1人暮らしで支援を受けている高齢男性が倒れてしまった際、2匹の犬がゲージに閉じ込められており、夏場なのに電気が止められてエアコンも止まりひどい状態でした。保護団体の方が犬を連れだして無事だったのですが、ペットも大事な命です。支援員の方と行政とで連携を取り、ペットの命を守るための対策をとってほしいです。

市長　　生活保護を受けておられる方には担当ケースワーカーがついております。いろいろなケースがあると思いますが、定期的な連絡が取れない場合は、対応しています。まずは人間の対応が一番になってしまいますが、ペットを置き去りにすることはしませんのでご理解をいただければと思います。

参加者　　3点目ですが、ペットの連れ去りが流行っています。コンビニで買い物をしている間にペットを連れ去られることもあるようです。犬の散歩をしている方に啓発チラシを配っていますが、市の広報でも周知していただきたいです。

市長　　市の広報での周知はできますが、愛護活動をされている団体からの注意喚起という形で周知するほうが、説得力があり良いと思います。動物愛護の活動については私も賛同するところですので、広報での周知についても検討させていただきます。

参加者 現役世代が減っていくという説明がありましたが、税収減少が予想される中で市の歳入確保として、企業誘致などの政策はありますか。

市長 ふじみ野市は埼玉県内でも4番目に面積が小さく、11万人が暮らしています。その中で3万人程度が65歳以上となります。三角交差点から下赤坂へ向かう付近に工業誘致できるエリアがあるのですが、流通系の倉庫会社は都市計画法の制限により誘致することができません。流通系の会社が進出したいという話はあるのですが、土地利用のハードルがかなり高くなっているため、工業や倉庫の会社ではなく、頭脳的な企業の誘致を進める政策もあると思います。しかし、企業誘致で税収が増えても、そのうちの75%分の地方交付税交付金が減らされてしまいます。そのため、企業誘致も進めつつ、現役世代の方に多く住んでいただきたいと考えています。本市では昭和40年代頃に住宅開発が大幅に進んだのですが、現在その時に家を買った世代の孫世代が家を建て替えて移り住んできています。学校の整備など、若い人が魅力を感じる子ども優先のまちづくりを掲げて、今後も子育てのしやすいまちをアピールしていきます。さらに、道路の整備や、高齢者にとっても移動もしやすいエリアを作っていくことで、多くの方に魅力を感じていただけるのではないかと思います。

参加者 マンションに住んでいるのですが、給水方式が貯水槽式です。貯水槽が30年くらい経っており、入れ替えに数千万円、メンテナンスに年間100万円ほど掛かります。最近ではポンプを使って直結で各家庭に送るのが主流らしいのですが、市の上下水道課に問い合わせると配管が老朽化しているため、補修した後に直結可能か判断するとのことでした。三芳町や富士見市は直結可能と聞いたので、ふじみ野市でも対応を急いでいただきたいです。

市長 確認して、後ほど担当職員よりご連絡させていただきます。

参加者 ビバホームの南側から川越街道へつながる道路の街路樹の根本に雑草が多いです。何年か前に市できれいにしてもらいましたが、去年くらいから見苦しい状態なのできれいにしてほしいです。

市長 県の管轄道路になりますので、県に伝えさせていただきます。

参加者 ビバホーム駐車場の西側の道路について、南北に2つ横断歩道がありますが、もう1つ真ん中あたりに横断歩道がほしいです。設置を拒む人がいましたが、今はいなくなりましたので設置を希望します。

市長 横断歩道間の距離が定められており、あまり近くにつけることはで

きないかと思ひます。現地を確認し、要望は公安委員会へお伝えさせていただきます。

参加者 道路沿いにある雨水桝の土地の上の花壇をやっているボランティアグループの一員です。雨水桝の工事の後、黒土を置いてもらえるという話でしたが、都合がつかなくなったということで赤土のままになっています。花を植えるために肥料を購入してもらったのですが、土地が広いので焼石に水の状態です。肥料購入のための資金を補助していただきたいです。

市長 黒土の件については、実際に職員がどのように説明・対応したかが不明のため確認します。また、肥料についても検討させていただきます。